輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

令和４年度から令和５年度へ。児童会引継ぎの時！

－ Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

少し暖かくなったと思いきや寒くなる、寒い日が続いたかと思うと暖かくなる、これを繰り返している感じですね。こうした様子を「**三寒四温（さんかんしおん）**」といいます。3 日ほど寒い日が続いたあとに 4 日ほど暖かい日が続くという寒暖の周期のことです。正に今、気候が揺れ動いています。体調管理が難しい時期だと思います。明後日（2 月 19 日）は二十四節気でいう「**雨水（うすい）**」です。雪が雨へと変わって降るようになり、降り積もった雪や氷もとけ出し水になる頃という意味です。日本列島は南北に長くまだまだ雪深い地域もありますが、厳しい寒さが和らぎ暖かな雨が降ることで、徐々に雪解けが始まる頃です。冷たく凍っていた大地がゆるんで目覚め、草木が芽生える時期となります。また、昔から雨水になると雪解け水で土が潤い始めるため、農耕の準備を始める目安となっていました。また一歩、春に、春が近づいてきています。

さて、**来週の月曜日（２月 20 日）、児童会の引継集会が行われます。**この時、多くの学校には引き継ぐ物があります。学校によって、それは鍵であったり、バトンであったりしていました。保護者の皆様の中にも、「あ～、そういえば大きな鍵みたいな物を渡してたなあ。」といった場面を思い出される方もおられるかもしれませんね。このような集会において多くの学校で見られる光景だと思います。では、この中番小学校にはどんな物がこの集会で登場しているのでしょうか。保護者の皆様はご存じでしょうか。この引継集会において、**中番小学校では児童会旗を引き継いでいます。**エンジ色の割と大きな旗です。デザインは、旗の中央に校章があり、その周りを４つの丸い星が回っている、そんなイメージです。この４つの丸い星は、それぞれ色が違います。**緑、黒、青、白の４色**です。この色は、一体何を表しているのでしょうか。「**みどりの風**」「**誉田の黒い土**」「「**世界に続く青い空**」「**播磨の峰に積もる雪（白）**」**の４色です。**もう、お気づきになられた方もあると思います。そうです。この４色は中番小学校の校歌に歌われている色なのです。児童会旗の作成にあたり、学校として大切にしたものです。この４色が表す、大地を渡る爽やかな風、豊かな実りを育てる栄養豊かな黒々とした大地、どこまでも広がる世界に続く青い空、彼方の山に見える光を放つ気高く白い雪。色鮮やかな自然が織りなす、雄大で美しい中番小学校の風景が浮かんできませんか。この中番の地に生まれ、この中番の地で育ち、やがて広く大きな世界へ飛び立っていく、故郷を大切に思い、心の拠り所として成長していく、そんな中番小学校の子供達であって欲しい。そのような願いが込められた児童会旗なのです。この児童会旗には、平成 29 年度から歴代の児童会メンバーの名前が刻まれています。その年代、年代で色々なことがあったことでしょう、楽しかったこと、苦しかったこと、様々あったに違いありません。その中で、自分達で考え、行動したこと、それは必ず自分自身の成長に繋がっています。中番小学校の児童会旗を見ながら、そんなことを考えました。来週、いよいよ令和４年度から令和５年度へ、この児童会旗が引き継がれます。令和４年度の子供達への感謝と令和５年度の子供達への心からのエールを贈りたいと思います。

新型コロナとインフルエンザの同時流行については、まだまだ心配な状況が続いています。日々の感染症対策（手洗い、うがい、消毒、換気等）を徹底し、「**恐れず、正しく、適切に。**」対応していきます。気候の変化による寒暖差も激しく、子供達が体調を崩しやすい時期でもあります。子供達の体調管理がより必要な時期となっておりますので、保護者の皆様の深いご理解とあたたかいご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。**３学期、元気で逞しい子供達の姿に期待しております。**中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。

学校通信　№６４　令和５年２月１７日　小野市立中番小学校長　田中康善